

令和2年度

# 一般会計当初予算

## 36億2,500万円

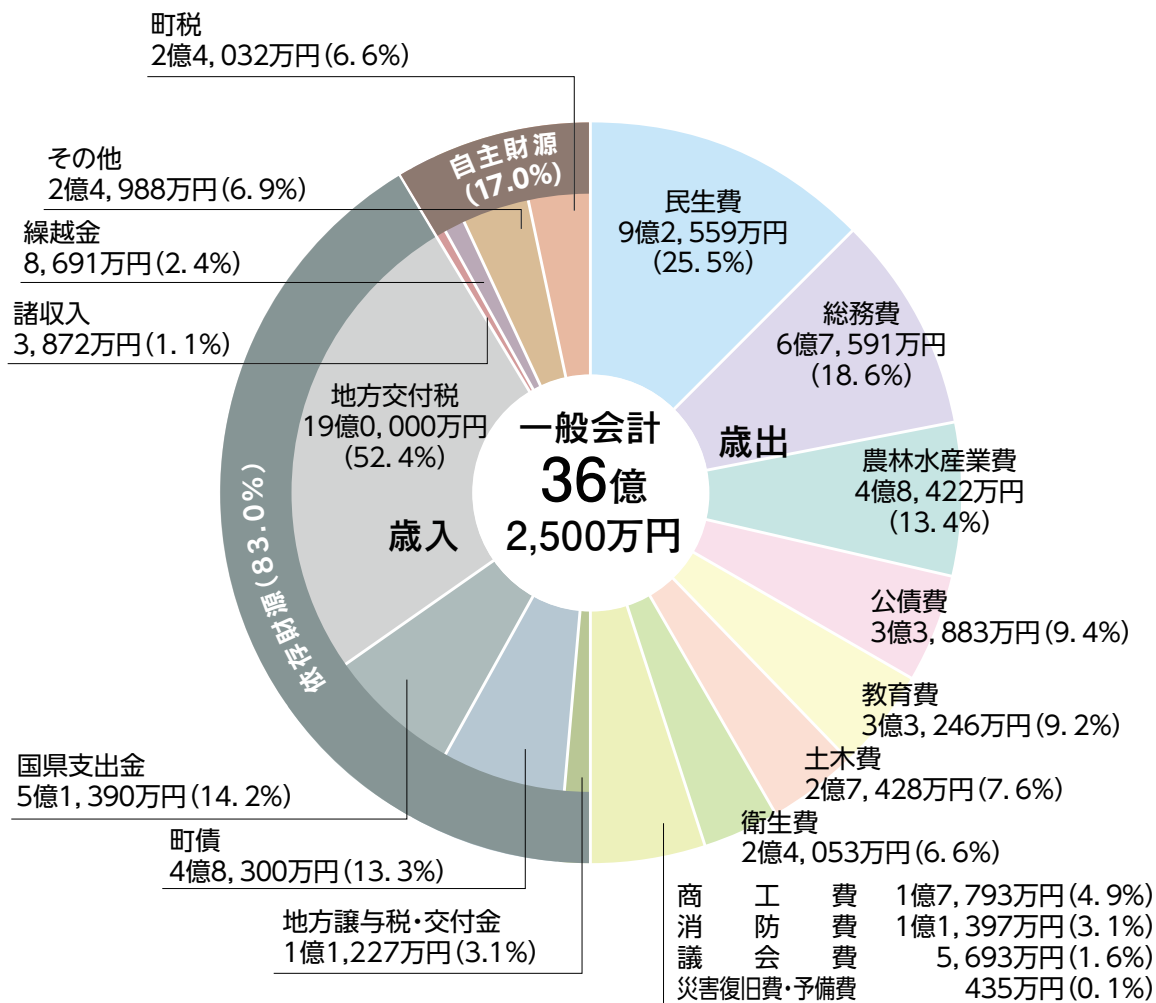
令和2年度一般会計当初予算の総額は36億2,500万円で、前年度から金額で1億1,600万円、伸び率で3.1%、減少しました。

主な事業は、3月に運行が開始した若桜号をはじめとする観光列車PRや観光広域連携に取り組む地方創生事業、昨年姉妹駅協定を締結した台湾の内湾との国際交流の推進、また、若桜町地域福祉センターの空調設備や浴槽等老朽化に伴う施設の改修、精米調製施設内の備品整備、林道諸鹿屋堂羅線開設、町道新設改良にかかる予算を計上しています。

このほか、移住定住対策として移住定住交流センターを核とした移住者の受入や空き家利活用の促進、子育て支援策としては、引き続きわかさこども園の保育料無償化や子育て応援給付金の支給、若桜学園児童・生徒の教材費や給食費の助成、高校生等の通学費助成の拡充などを実施します。

人口減少、高齢化が進む中、限られた財源を最大限効果的に活用し、町民の皆さまが安心して快適に生活できる魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

### 一般会計当初予算歳入・歳出の内訳



注：( )内の割合は総額に対するものです。

## ～ 主な事業の紹介 ～

### 高齢者の皆さんが健康で生きがいを見つけながら、安全安心に暮らせるまちづくり

- 地域情報通信基盤施設(5,033万円)  
IP告知端末関連機器設備の維持管理。
- 交通安全・防犯対策(151万円)  
安全啓発、各団体補助、カーブミラー整備等。
- バス運行(6,535万円)  
町営バスの運行、バスターミナル管理、高速バスドロップイン補助、諸鹿線や広域路線バスの運行費用助成。地域公共交通体系実証実験を実施。
- 消費者行政(171万円)  
相談窓口を開設し、各種相談や被害の未然防止に取り組む。
- 環境衛生(221万円)  
資源ゴミ回収やゴミ減量化の推進、生ゴミ処理機の貸し出し、ゴミ減量化モデル地区への助成。
- 塵芥処理対策(1億474万円)  
ゴミの収集や処理を適正に行い、公衆衛生の向上と環境の保全に努める。
- 介護者支援(180万円)  
自宅介護されている方に支援金支給(月額5千円)。
- 三世同居支援(251万円)  
三世同居者に支援金を給付。
- 敬老事業(770万円)  
73歳以上を対象とし敬老会を開催。
- 地域支え合い体制づくり事業(104万円)  
高齢者の買い物支援として移動販売車運営費用の一部を助成。
- 高齢者世帯の豪雪対策(100万円)  
高齢者世帯の雪下ろし費用を助成。
- 特別医療費(2,372万円)  
障がい者、ひとり親家庭、18歳未満の方などに対し、医療費を助成。
- 障がい者福祉(1億1,991万円)  
障がい者に対する援助・保護。
- 地域福祉センター管理(1億2,394万円)  
浴槽、空調設備の改修。
- 生活保護(7,770万円)  
被保護者の生活保障と経済的自立を支援。
- 予防費(1,338万円)  
インフルエンザ、定期予防接種、肺炎予防、ロタウイルス予防など対象に助成。
- 健康増進(1,789万円)  
各種がん検診、健康教育、健康相談や生活習慣病の予防、健康ポイント制度の導入を推進。
- 急傾斜地崩壊対策事業(2,425万円)  
崩落の恐れがある急傾斜地の整備。
- 道路維持費(3,961万円)  
町道管理、除雪作業、消雪施設の維持管理。
- 町道新設改良(7,199万円)  
栃原小学校線、来見野集落道、浅井線法面等補修。
- 非常備消防費(1,100万円)  
消防団、自警団の活動支援や、消防設備の維持管理、各自治会の備品購入助成。
- 災害対策事業(2,253万円)  
有事に備え備蓄物資の整備と防災備蓄倉庫の管理、住宅耐震に伴う診断・設計改修費用の助成。



### 若者が住みたくなるまちづくり

- 若者プロジェクト・未来ビジョン懇話会、子育てリフレッシュ事業(36万円)  
地域住民、各種グループの参加を促進し、意見や要望等を町政に反映。
- 出産祝い金支給(90万円)  
出産祝い金(第1・2子に5万円、第3子以降10万円)を支給。
- 子育て応援給付金(480万円)  
1歳まで家庭で育児を行う保護者に給付金(月額3万円)を支給。
- 児童措置(2,474万円)  
中学校課程修了までの子どもの保護者に対し手当てを支給。
- わかさこども園の運営(3,133万円)  
こども園の管理運営、保育料無償化。
- 子育て支援センター運営(642万円)  
子育て相談、仲間づくり、世代間交流の場として開設。
- ひとり親家庭の支援(73万円)  
ひとり親家庭の生活安定と経済的自立を支援。
- 中之島公園管理(445万円)  
遊具修繕、公園の維持管理。
- 学力向上支援(98万円)  
元教員、地域協力者の指導により、地域の児童・生徒の学力向上を支援。
- 入学、進級祝金(23万円)  
若桜学園の1年生と7年生に教育費として1万円を支給。
- 学校給食費の軽減(365万円)  
子育て支援として給食費の1/2を負担。
- 英語教育の推進(36万円)  
英語教育の強化と英語検定受験料の全額助成。
- 通学対策(1,336万円)  
若桜学園に通学するバス定期券・回数券と7年生にヘルメット・安全タスキを支給。また、若桜鉄道または日本交通の定期券を購入した高校生に、通学支援として通学助成金を支給。
- 奨学資金の返還支援(60万円)  
若桜町大学等奨学資金の返還を行っている町内在住者に対し、返還資金の1/2を助成。
- コミュニティ・スクールの推進(142万円)  
令和3年度のコミュニティ・スクール導入を検討するため、推進委員会・研修会等実施。



## 農業、林業の振興によるまちづくり

- 農業振興(6,956万円)  
中山間地域等直接支払、農地中間管理事業、多面的機能直接支払、特産品開発支援などを実施。また、新規就農や農業経営継続者などを支援し生産振興と地域の活性化を図る。さらに、エゴマのブランド化推進のため、健康データ調査を行う。
- 有害鳥獣駆除対策(3,690万円)  
野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、捕獲奨励や電気柵などの設置費用を助成。また、獣肉解体処理施設の管理運営を行い、食用肉を生産。
- 農業用施設改修(512万円)  
農道、水路などの農業用施設の整備。
- 林業振興(1,735万円)  
林業団体の育成、活性化のため、高性能機械の導入費を助成。また、後継者不足が懸念される林業労働者の新規参入の促進及び技能向上を図るため、奨学金返還額の一部を助成。
- 森林整備(5,347万円)  
作業道修繕を実施するほか、町有林の間伐、個人が行う間伐の助成や造林補助事業対象外となる高齢木の間伐を支援(美しい森づくり基盤整備交付金)。
- 若桜材需要拡大推進(3,270万円)  
木材の搬出、利用促進を補助し、若桜材のブランド化を推進。また、薪ストーブなどのバイオマス燃焼機器の導入助成。
- 林道事業(9,382万円)  
橋梁点検、林道開設、改良及び適正な維持管理を推進し、森林施業の基盤となる基幹的路網を整備することで適正な森林整備を促進。
- 淡水魚放流(51万円)  
イワナ・ヤマメの稚魚を放流し、清流の町をPR。



## にぎやか創出のまちづくり

- 村づくり交付金(162万円)  
村づくり・交流活動や自主防災組織の結成・活動を支援。
- 地域間交流(214万円)  
福井県若狭町、兵庫県多可町との自治体間交流。武蔵野市自然体験交流事業。阪南大学との官学連携事業の実施。
- 国際交流(927万円)  
韓国平昌郡、台湾内湾との友好交流、平昌郡職員・生徒との交流。
- 若桜鉄道対策(1億519万円)  
鉄道施設の整備・保守管理、駅ナカ店舗を開設。
- 移住定住対策(2,277万円)  
移住定住交流センターの運営、移住者居住施設整備助成、空き家利活用流通促進事業補助などを行う。
- 地方創生(1,643万円)  
観光列車PRや観光広域連携、各種イベントを実施。
- 地域おこし協力隊設置事業(2,347万円)  
鉄道、農業、商業、観光部門に隊員を配置し、地域の活性化を推進。
- ふるさと納税推進(957万円)  
ふるさと納税寄付者に特産品を贈呈し、本町をPRする。
- 商工業振興(3,927万円)  
商工会が取り組むにぎわい創出事業への補助や駅前店舗開設、新規創業・開業者・後継者への支援。
- 観光振興(2,326万円)  
若桜町観光協会運営費や清流まつり、花火大会などのイベントを助成し、魅力ある観光地づくりを推進。
- ジビエ振興(158万円)  
狩猟、解体処理されたジビエをイベント等での試食提供や物販を行いPR。
- 氷ノ山の集客促進(3,918万円)  
氷ノ山高原の宿氷太くんやキャンプ場、スキー場施設などの維持管理。また、鳥取県などと連携した氷ノ山の活性化に向けた取り組みや星空PRのほか、氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会、民間集客イベントへ助成。
- 文化財保護(411万円)  
宿内のカリヤ通り、町並みの保存を行うため、国選定重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた調査、鬼ヶ城登山道修繕、案内板の更新。
- 東京オリンピック聖火リレーの開催(55万円)  
5月に実施される東京五輪の聖火リレー実施に係る負担金。



## 令和2年度 特別会計当初予算

特別会計10会計の当初予算の合計額は、17億7,913万円で前年度より8,756万円(前年度対比5.2%)増加しました。

特別会計名	予算額	前年度比(%)
国民健康保険事業	4億5,016万円	8.6
介護保険事業	7億1,027万円	0.3
後期高齢者医療	6,052万円	7.6
簡易水道事業	2億7,850万円	62.8
公共下水道事業	1億6,567万円	△10.3
農業集落排水事業	6,397万円	△46.4
赤松団地造成事業	394万円	0.0
財産区造林事業	988万円	38.8
索道事業	3,442万円	39.5
住宅新築資金等貸付事業	180万円	0.0
合計	17億7,913万円	5.2